平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月25日

上場会社名　ホクシン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7897　URL　http://www.hokushinmdf.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 平良　秀男
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長　(氏名) 西丸　義孝　TEL 072-438-0141

四半期報告書提出予定日　平成25年11月1日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,201	9.0	117	△45.6	89	△52.3	58	△61.5
25年3月期第2四半期	4,773	3.1	215	198.2	187	391.8	151	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.06	―
25年3月期第2四半期	5.36	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,000	3,265	32.7
25年3月期	10,205	3,270	32.0

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　3,265百万円　25年3月期　3,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	1.50	1.50
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	1.50	1.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	0.3	300	△31.0	230	△38.9	180	△36.9	6.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	28,373,005 株	25年3月期	28,373,005 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	18,387 株	25年3月期	18,194 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	28,354,728 株	25年3月期2Q	28,355,473 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期財務諸表 ……4
（１）四半期貸借対照表 ……4
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 ……7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 ……8
（継続企業の前提に関する注記） ……8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策により円安・株高が進行し、輸出関連企業を中心に業績の改善が見られ、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなど、景気回復の兆しが見られました。一方、海外では、欧州景気の停滞、米国の金融緩和策の規模縮小の動向や中国経済の減速懸念等、景気下振れリスクが存在し、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社と関連の深い住宅業界におきましては、消費税増税前の駆け込み需要が顕在化したことに加え、景況感の改善や住宅ローン金利の先高観が住宅受注を後押しし、住宅着工戸数は、平成25年４月から平成25年８月までの累計で前年比11.3％と増加しました。

当該期間の業績につきましては、住宅市場が好況であるため、耐水製品を中心に販売量が伸び、売上高は増加いたしました。生産面においては、円安による輸入原材料費の上昇やエネルギー関連費用（ＬＮＧ、電力）の高止まりが製造原価を押し上げましたが、チップ解繊設備や表面検査機等の設備投資により、生産性や品質が改善し、製造原価の上昇を吸収することができました。

この結果、当第２四半期累計期間の業績は、売上高52億１百万円（前年同期比 9%増）、営業利益１億17百万円（同 45.6%減）、経常利益89百万円（同 52.3%減）、四半期純利益58百万円（同 61.5%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(1)資産

流動資産は、前事業年度末に比べて４億13百万円減少し、41億17百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少、商品及び製品の減少、並びに原材料及び貯蔵品の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて２億８百万円増加し、58億83百万円となりました。これは主に機械及び装置の増加によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて２億５百万円減少し、100億円となりました。

(2)負債

流動負債は、前事業年度末に比べて４億54百万円減少し、44億５百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、１年内返済予定の長期借入金の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて２億54百万円増加し、23億29百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて２億円減少し、67億34百万円となりました。

(3)純資産

純資産は、前事業年度末に比べて４百万円減少し、32億65百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加及び、繰延ヘッジ損益の減少によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ１億30百万円減少し、９億78百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、１億64百万円（前年同期は１億31百万円の収入）となりました。主な増加要因は、税引前四半期純利益と売上債権の減少及び、たな卸資産の減少によるものです。主な減少要因は、仕入債務の減少及び割引手形の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、１億51百万円（前年同期は74百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、１億43百万円（前年同期は３億４百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の減少と社債の償還によるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅業界におきましては、10月以降駆け込み需要の反動減が懸念されますが、政府の住宅取得支援策が今後も継続されることと、来年度においては、さらに住宅ローン減税の拡充や現金給付といった負担軽減策も検討されているため、住宅着工戸数への影響は緩和されていくものと予想されます。

このような状況の下、当社は、販売面においては、引き続きお客様からのご要望の多い環境に配慮した耐水性・耐久性に優れた建材製品向けの供給を増加し、汎用性製品用途向けにつきましては、東南アジアからのＯＥＭ製品の拡販を進めてまいります。生産面においては、原材料リサイクル設備による歩留まり向上と生産設備の大型化による生産性アップを進め、さらなるコストダウンを進めてまいります。

業績予想につきましては、平成25年4月26日に公表しました平成26年3月期第2四半期の業績予想との間に差異が生じました。詳細につきましては、本日、公表しております「業績予想の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、市場環境の先行きに依然として不透明な要素が多いため、前回発表予想のままとしております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,109,018	978,294
受取手形及び売掛金	1,457,185	1,469,225
商品及び製品	1,111,945	973,735
仕掛品	223,129	252,795
原材料及び貯蔵品	497,292	392,038
その他	132,494	51,027
流動資産合計	4,531,065	4,117,115
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	1,200,064	1,414,758
土地	3,107,817	3,107,817
その他（純額）	623,821	636,587
有形固定資産合計	4,931,703	5,159,163
無形固定資産	15,793	16,774
投資その他の資産		
投資有価証券	693,584	687,718
その他	39,329	25,592
貸倒引当金	△6,100	△6,100
投資その他の資産合計	726,814	707,210
固定資産合計	5,674,311	5,883,148
資産合計	10,205,377	10,000,264

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成25年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,059,086	1,854,229
短期借入金	1,200,000	1,100,000
1年内償還予定の社債	168,000	135,000
1年内返済予定の長期借入金	1,046,368	888,002
未払法人税等	35,467	10,997
賞与引当金	99,000	102,100
その他	252,391	315,282
流動負債合計	4,860,313	4,405,612
固定負債		
社債	50,000	―
長期借入金	1,460,003	1,703,337
繰延税金負債	196,241	194,150
退職給付引当金	329,117	303,660
環境対策引当金	19,737	20,005
その他	19,919	108,198
固定負債合計	2,075,019	2,329,352
負債合計	6,935,333	6,734,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343,871	2,343,871
利益剰余金	1,001,924	1,017,898
自己株式	△3,196	△3,228
株主資本合計	3,342,599	3,358,540
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,193	25,417
繰延ヘッジ損益	24,852	7,943
土地再評価差額金	△126,602	△126,602
評価・換算差額等合計	△72,556	△93,240
純資産合計	3,270,043	3,265,299
負債純資産合計	10,205,377	10,000,264

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	4,773,065	5,201,207
売上原価	3,976,847	4,501,128
売上総利益	796,218	700,078
販売費及び一般管理費	580,868	583,020
営業利益	215,349	117,058
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,674	6,340
業務受託料	7,200	5,700
その他	2,837	2,613
営業外収益合計	16,712	14,653
営業外費用		
支払利息	30,428	27,220
その他	14,599	15,277
営業外費用合計	45,027	42,498
経常利益	187,034	89,213
特別損失		
固定資産除却損	18,313	24,058
特別損失合計	18,313	24,058
税引前四半期純利益	168,720	65,154
法人税、住民税及び事業税	16,740	6,648
法人税等合計	16,740	6,648
四半期純利益	151,979	58,505

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	168,720	65,154
減価償却費	94,232	120,494
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△13,107	△25,456
賞与引当金の増減額（△は減少）	13,750	△8,600
受取利息及び受取配当金	△6,674	△6,340
支払利息	30,428	27,220
固定資産除却損	18,313	24,058
売上債権の増減額（△は増加）	667,394	150,187
たな卸資産の増減額（△は増加）	△348,868	210,365
未払消費税等の増減額（△は減少）	△30,024	17,790
仕入債務の増減額（△は減少）	△111,383	△228,626
割引手形の増減額（△は減少）	△365,572	△162,228
その他	43,462	30,956
小計	160,671	214,976
利息及び配当金の受取額	6,674	6,340
利息の支払額	△31,845	△28,076
法人税等の支払額	△4,475	△28,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,025	164,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74,777	△156,044
無形固定資産の取得による支出	△4,195	△2,716
貸付金の回収による収入	1,088	2,783
その他	3,626	4,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,256	△151,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	―	△100,000
長期借入れによる収入	400,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△519,628	△615,032
社債の償還による支出	△183,000	△83,000
配当金の支払額	―	△42,532
その他	△2,362	△3,111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△304,990	△143,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△248,225	△130,724
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,713	1,109,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	990,488	978,294

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。